

中米地域に対する農林水産
協力関係文献抄録
(国別分Ⅲ)

グアテマラ、ハイティ

昭和63年1月

国際協力事業団
総務部情報管理課

情 管
J R
88-5

ARY

JICA LIBRARY



1065194[1]

中米地域に対する農林水産
協力関係文献抄録
(国別分Ⅲ)

グアテマラ、ハイティ

昭和63年1月

国際協力事業団
総務部情報管理課

国際協力事業団	
受入 月日 '88. 5. 6	611
登録 No. 17541	80
	GAI

は し が き

本資料は、当事業団が刊行または収集した農林水産関係の協力文献のうちグァテマラ及びハイティ関係のものを整理し、一点一点につきその内容の概略がわかるよう抄録を付したもので、当事業団元専門技術嘱託遠藤寛二氏の労作です。

当事業団保有情報の有効利用を図るための一助として、また対南西アフリカ地域農林水産協力の傾向を窺い知る貴重な資料として、業務参考用に広く活用していただければ幸いです。

昭和63年1月

国際協力事業団

総務部長 高橋 雅 二

ま え が き

1. 中米地域に対する農林水産協力関係文献抄録（国別分Ⅲ）として、グアテマラ、及びハイティ分をとりまとめた。
2. 今回とりまとめた両国に対しては、従来ほとんど協力実績がないが、最近の中米重視傾向から見れば、発展の可能性もある。
グアテマラについては、統計、計画、その他、かなり高水準の文献を作成していることから、対応力の期待もできる。
3. ハイティは外務省作成の1文献しかなく、当分、協力は望めまい。
4. 抄録に当っては、図書資料室の大野、青木、松木の諸氏、農林水産計画調査部の北原氏の絶大なご協力を得たので記して謝意を表する。

昭和63年1月

遠 藤 寛 二

目 次

	ページ
解 説	1
国別文献抄録	
1) グアテマラ	7
(1) 日本側作成文献	9
(2) 持帰り文献	19
イ. 統 計	21
ロ. 開発計画	33
ハ. その他	55
2) ハイティ	69

解 説

解 説

1. グアテマラ、及びハイティに対する農林水産協力関係文献の抄録を行った。
収録文献数はグアテマラ45件、ハイティ1件である。
2. 抄録の方法は、従前の通りである。
3. グアテマラ文献については、
 - 1) 文献の内訳

項 目	日本側作成文献			持ち帰り文献		
	JICA作成	他機関作成	計	ク政府作成	他機関作成	計
プロジェクト・ファインディング調査報告書	2	1	3			
林業別開発協力政策	2	0	2			
国別経済協力政策	0	1	1			
計	4	2	6			
統開 発 の 計 画 他				11	0	11
				16	0	16
				8	4	12
計				35	4	39

- (1) 日本側の文献は僅かに6件(13.3%)、持帰り文献39件(86.7%)で、大部分が持帰り文献である。
- (2) 日本側の6件中、4件(66.7%)はJICAの作成したもので、他は、外務省作成1件、IDC作成1件である。
企業のコンサルタントないしはその団体の調査報告が1件もない。
- (3) 日本側文献のうち、3件(50%)はプロジェクト・ファインディング調査の報告書であり、2件は林業の投融資関係の報告で、和文とその英文である。
いくらかでも、実質的と見られるものは林業の調査のみである。
- (4) プロジェクト、ファインディング3件、その後の発展なしというのは、当方に明確な協力意図なしに調査したという拙い例である。
1件は、ペルー、1件は、アルゼンチン、ウルグアイ、コスタリカ、他の1件は、コロンビア、エクアドル、パラグアイと、グアテマラを抱合せで調査しており、ついでに廻った程度のことしか書いていない。
3回の調査で、グアテマラからは明確な要請もない。
- (5) 持帰り文献39件中、政府の作成したものが35件(89.7%)を占める。

(6) 内訳は、統計11件、開発計画16件、その他8件である。

イ. 開発計画のうち14件は1975～79年の5ヶ年計画関係で、1975～1982年の開発計画が1件、他の1件がCuyuta灌漑計画のフィージビリティ調査という具体的なものとなっている。

ロ. その他の8件は、研究機関ICTAの報告が4件、経済企画審議会作成の地図が2件、林業法1件、災害報告1件である。

(7) 他機関作成の4件は、USAID 3件、コロネル大1件で、いずれもアメリカの機関の米国の経済協力効果の調査である。

2) 日本側の関心の推移を示す、文献刊行年次別件数を示すと次表の通り。

項 目	年 次 別								計
	73	74	75	76	77	78	79	80	
プロジェクト・ファインディング調査	1			1				1	3
林業開発協力調査							2		2
国別経済協力政策				1					1
計	1	0	0	2	0	0	2	1	6

(1) 1973年(昭和48年)に始り、80年で終わってしまい、あとが続いていない。

今年、近く、灌漑関係の調査を行う由であるが、その間、数年間は、農林水産協力は見られなかった。

3) 以上の状況から、わが国は、グアテマラに対しては、従来積極的協力を行っていなかったことは明らかである。

4) 唯一の具体的調査である林業開発協力調査は、マツクイムシ防除、被害木処理、被害木処理のための製材及びパルプ工場への民間協力要請に対応して行っているが、結論として、民間では困難であり、政府間協力が必要だといっている。

この件も、その後の発展はない。

5) 3回のプロジェクト・ファインディング調査報告では、高冷・傾斜地の畑作(大豆、野菜)改良、小型農機具導入等による小農優先の協力が適するようにいっている。

しかし、近く派遣の調査団は、灌漑稲作のようである。

アフリカでもそうであるが、中南米でも同様に、日本のプロジェクト・ファインディング調査団と先方政府の考え方に、常にこれと同型のズレが見られる。例外はブラジルのセラードくらいである。

原因は、日本側には、農民重視の伝統があり、諸外国は、産業(場合により、輸出を考慮)としての農業を考えていることにあるように思われる。

4. ハイティ文献については

1) 外務省作成の経済協力国別資料(昭和80年)が1件あるだけで、農林水産業協力の

実績の記録がない。

- 2) 上記文献に研修員受入れ6人中、農業水産で3人あったということが書いてある。
- 3) 現在、この国に対する農林水産協力の動きはない。
5. 上記文献の保管状況は、グアテマラの日本側文献中の1件（中南米地域農業協力プロジェクト・ファインディング調査報告書）のみが、農計部のみにあるほか、グアテマラの44件、ハイティの1件は、すべて図書資料室にある。

グ
ア
テ
マ
ラ

日本側文献

日本側文献

グアテマラ（日本側作成文献）

番号	文 献 名	刊 行		整理番号	
		部 課	日付	資料室	農計部
1	中南米（ペルー・グアテマラ）技術協力プロジェクト選定調査団調査報告書	開	73.3	709 36 KE 13382	-
2	国別経済協力政策 第1部 資料編	外務省	76	R611 36 G A02080	-
3	中南米地域農業協力プロジェクトファインディング調査報告書（アルゼンチン、ウルグアイ、コスタリカ、グアテマラ）	農 林	76.7	-	600 76-1
4	グアテマラ林業開発協力事業基礎一次調査報告書	林開発	79.4	611 88.7 FDD 03201	-
5	Report of preliminary survey for forestry development in Guatemala	"	79-	611 88.7- FDD 05625	-
6	海外農林業開発協力国別（地域別）方針基礎調査報告書	IDC	80	611 81 K L19832	-

中南米(ペルー、グアテマラ)技術協力プロジェクト選定調査団調査報告書(48.3_外務省・海外技術協力事業団_709_36_KE_13382, 71P)

1. 目的：ペルー、グアテマラ両国の経済・社会発展の基礎となるインフラストラクチャ分野に対する技術協力を中心に、技術協力の可能性を調査する。
2. 日程及び団員：
 - 1) 日程：昭和47年12月1日～16日
 - 2) 団員：本野盛幸(団長 外務省)、富田徹郎(郵政省)、水野昭(建設省)、馬場一精(運輸省)、池田実(農林省)、伊藤昌輝(外務省)、藤田真(外務省)、階堂佳次(OTCA)、村越俊雄(OTCA)
3. 要約：
 - 1) ペルーについて；次のものをあげている。
 - (1) 水産部門：水産行政全般のアドバイザー派遣、オケント漁港計画のFS調査監督のための専門家派遣、ラモリナ農大水産学部への協力、定置網調査及び水産加工(大学関連)
 - (2) 農業部門：要請なし
 - (3) その他、電気通信・放送、港湾・道路、住宅、水道・水質源、ミチキジャイ鉱山関連インフラ、職業訓練センターへの協力。
 - 2) グアテマラについて；次のものをあげている。
 - (1) 農業・水産部門：アドバイザーの派遣
 - (2) 太平洋岸新港建設計画、高速道路、電気通信、等

1. 外務省が、継続して実施している、国別経済協力政策策定資料の1つで、グアテマラを取扱ったもの。

2. 目 次

第I章 経済社会の現状と特色

第II章 経済開発計画の方向

第III章 主要援助国及び国際機関の援助動向

第IV章 わが国との関係

3. 要 点:

- 1) 農業は国内経済の根幹であり、鉱業は将来期待される。
- 2) 国土面積10,889千ha, 農地1,484千ha, 牧草地1,015千ha, 森林5,400千ha, 未開地2,990千ha。
- 3) コーヒー, 綿花, バナナ, 砂糖きびは輸出用, とうもろこし, いんげん豆, 米等は国内消費用。
最近, ゴマ, 柑橘類の増産に努力している。
- 4) 畜産物の主体は牛肉, 米国に輸出している。
- 5) 林産資源は153百万㎡と推定され, チーク, マホガニー, 松, 杉, 檜等有用材が多いが, インフラ皆無。
- 6) 水産資源は, 輸出向けエビ漁, 国内向け小規模漁労, 前者は有望だが, 太平洋岸に良港がない。
- 7) わが国の技術協力はあまりない。

中南米地域農業協力プロジェクト・ファインディング調査報告書(アルゼンチン, ウルグアイ, コスタリカ, グアテマラ)(51.7__国際協力事業団__農計部整理番号__600__76__1.157P)

1. 目的:

上記4国に対する今後の農業技術協力の方向づけの基礎資料を得る。

2. 日程及び団員:

1) 日程: 昭和51年2月14日~3月14日

2) 団員: 末次 勲 (前インド派遣農業専門家, 団長), 北野康夫 (JICA), 末松雄祐, 吉村正樹 (以上農林省), 木下清彦 (JICA)。

3. 要約:

1) 総論と各国編 (アルゼンチン, ウルグアイ, コスタリカ, グアテマラ) から成る。

2) 総論は, 全体の要約で, 協力の方向と問題点, 各国の要望とその対応及び調査結果の3節の要約になっている。

3) 各国編は, 共通して, 国の概況, 農業の概況, 農(農牧)業の生産と技術及び開発計画の概要, 試験研究機関の概況の4項目の記述があり, その他, ウルグアイ: 開発計画の概要, パッケージプロジェクト, 及び, 国連及び先進国の農業技術協力プロジェクト, コスタリカ: 農業開発計画という項がある。

4) 中南米共通事項として, 次のことを挙げている。

(1) アジアと水準が異なる。

(2) 政治的に安定している。

(3) 日本の技術協力を知らず, PRを要する。

(4) 日本側の中南米の調査・研究が必要である。

(5) CIMMIT, CIAT, CATIE, IICA, CIP等国際機関の活用, これらへの協力。

(6) 先方は, 開発輸入を期待している。

5) 上記4ヶ国からの要望と対応については, 次表のように記述してある。

4. 本報告書は, これらへの後の対応からみると重要であるが, 図書資料室には登録されていない。

国名	要望事項	調査国の対応
アルゼンチン	1) 大豆開発専門家派遣, 研修員受入れ 2) 羊毛品質管理専門家派遣 3) 配合飼料管理技術者派遣, 機材供与 4) 稲作専門家派遣, 機材供与	個別派遣専門家の派遣による技術協力が適切 (註 大豆については後に専門家派遣)
ウルグアイ	1) 蔬菜栽培研究プロジェクト	専門家派遣 (註 後に研究協力プロジェクト実施)
コスタリカ	1) 農牧省へのアドバイザー派遣 2) CATIEへの専門家派遣 3) 高級研修員受入れ	1) テンピスケ川灌漑計画は日本政府に報告。(註 後に開発調査実施) 2) 国際機関への専門家派遣がよい。
グアテマラ	1) 農牧省, 企画庁へのアドバイザー派遣 2) 高級研修員受入れ	1) 小農対象の高冷地急斜面畑作(大豆, 野菜)の土地生産性向上 2) 同, 小型機械導入による労働生産性向上 3) 豊富な水による灌漑 4) 稲作の小型脱穀機導入による省力の協力がよい。

1. 目的：

グアテマラ政府が、小規模パルプ工場の建設及び製材加工業の振興を図るため、技術及び資金協力の要請を行った。

これに答え、民間企業の協力の可能性を検討する。

2. 日程及び団員：

1) 日程：昭和53年10月3日～25日

2) 団員：加納 孟 (団長), 大槻幸一郎, 高橋 勲, 米田安範 (以上農水省), 宮崎 宜光 (JICA)

3. 要点：

1) 42Pまでが本文、以下は参考資料。

2) 第I章 グアテマラ国の概観, 第II章 グアテマラ国の林業, 第III章 グアテマラ国における林産業の現況, 第IV章 グアテマラ国の林業振興計画の5章からなり、上記事項の詳細は記述がある。

3) 要請は、(1)マツクイムシの被害防除, (2)被害木の衛生伐採、搬出処理, (3)被害木処理のための製材工場、パルプ工場の建設, (4)地域住民の協同組合による製材工場、パルプ工場の経営, (5)地域住民の協同組合の育成による住民の生活水準の向上、である。とくに工場建設の資金援助を要請している。

4) 民間協力の結論はないが、困難視しており、政府間の協力が必要としている。協力事項として、調査、資金援助をあげている。

Report of preliminary survey for forestry development in Guatemala(54__
国際協力事業団_611_88.7_FDD_05625, 69P)

1. 和文報告書「グアテマラ林業開発協力事業基礎一次調査報告書(54.4__国際協力事業
団_611_88.7_FDD_03201)」の英語版。

2. 内容は、和文報告と多少異なる。

1) 章の立て方：和文の第Ⅱ，第Ⅲ章のグアテマラの林業，林産業の事情関係が除かれ，
第Ⅳ章の振興計画が第Ⅱ章となり，第Ⅳ章の一部であった政府間協力の必要性が，独
立の章となり，第Ⅲ章となっている。

2) 28Pまでが本文，以下は参考資料である。

3) 英文に収録されている記事は，和文の記事の相当部分と同内容である。

海外農林業開発協力国別(地域別)方針基礎調査報告書__グアテマラ編__(55.3__国際開発センター__611__81__K__A19832, 97P)

1. 目 的:

- 1) 昭和54年度, 農林水産省委託事業として行った, コロンビア, エクアドル, グアテマラ, パラグアイの4国の調査の1つ。
- 2) 日本の今後とるべき農林業開発に関する技術・経済協力の方向を探る。

2. 日程及び団員:

- 1) 日 程: 昭和54年8月~9月
- 2) 団 員: 尾崎忠二郎(IDC), 西山喜一(農大), 中川文雄(筑波大), レ・タン・ギョップ, 四月朔日良秀, 鶴巻大陸(以上IDC)

3. 要 約:

- 1) 序章で国の概況をのべ, 以下, 第1章 農業の現況, 第2章 農業開発計画の現状, 第3章 農業開発計画の諸問題, 第4章 国際協力の現況, 第5章 日本の協力の可能性という章立てとなっている。
- 2) 日本の協力の可能性については, 次のように述べている。
 - (1) この国の農業は低地の大農場の商品作物生産, 高原地帯の小農のメイズ, 豆類等の自給的農業に別れる。
 - (2) 高原地帯の小農の農業発展を優先すべきである。5ヶ年計画では, むしろ, 逆になっている。
 - (3) 日本の援助は, 高地での野菜栽培の試験研究や小型農機具の開発などにしぼった協力が可能と思われる。
 - (4) また, 付加価値をつけるための農産品加工を含めることが必要。
 - (5) 研修訓練施設, 研究施設の設立, 機材供与, 研修員受入れ, 等が必要である。
 - (6) ニーズの高いものに土壌浸食防止, 植林等が必要である。

持 帰 り 文 献

持
帰
り
文
献

統計

番号	文 献 名	刊 行		整理番号	
		部 課	日付	資料室	農計部
1	II Censo agropecuario 1964 Tomo I	經濟省 統計 總務局	68.4	611 81.1 G D12008	-
2	同上 Tomo IV	"	69.4	611 81.1 G D12009	-
3	Estadísticas agropecuarios continuas 1975	"	76.11	611 81.1 G D11995	-
4	同上 1976	"	78.5	611 81.1 G D11996	-
5	Encuestas agricolas de granos basicos cifras preliminares-Guatemala	"	78.12	611 81.1 G D11980	-
6	Estadísticas agricolas continuas 1978	"	80.3	611 81.1 G D11997	-
7	同上 1979	"	80.10	611 81.1 G D11998	-
8	同上 1980	"	82.3	611 89 G D11999	-
9	同上 1981	"	82.12	611 81.1 G D12000	-
10	Boletin de pesca No.14 1981	"	82-	611 89 G D12029	-
11	III Censo nacional agropecuario 1979	"	83.2	611 81.1 G D11987	-

統

計

II Censo agropecuario 1964(第二次 農牧業センサス,1964年)(43.4_経済省統計総務局_611_81.1_G_12008, 308P) Tomo1(第1巻)

1. スペイン語。1964年実施の農牧業センサスの集計。
第1巻は、全般的性格、農地の集中と所有、という副題がついている。
2. 目次は、307～308Pにある。
 - 1) 1～14Pは、このセンサスの範囲、方法の説明。
 - 2) 15～116Pは、集計結果の解説で、次の3部に分れている。
 - (1) 全般的性格：農場及び生産者
グアテマラの農業、農牧業開拓の数と面積、開拓の細分、農場の管理方式、生産者の法的条件、生産者の人種(民族)グループ、農場面積の分布。
 - (2) 農地の集中：
地帯別農地の集中、地区別の問題点
 - (3) 農地の所有：
所有の形態、農地の制度、所有の単純形及び混合形、中米における農地所有。
という内容。
 - 3) 117P以降が数表となっている。
農場数417,344, 面積4,926,766manzanaという統計数字がある。

II Censo agropecuario 1964(第二次 農牧業センサス.1964年)Tomo IV(第4巻)
(44.4 経済省統計総務局 611 81.1 G D12009, 430P)

1. スペイン語。1964年に実施した農牧業センサスの集計の第4巻。
次の副題がある。
家禽, 蜂, 畜産, 農機具及び車輛, 肥料及び灌漑, 農業労働力, 小作人, 付録。
2. 目次は429~430Pにある。
 - 1) 1~40Pにセンサスの説明。
 - 2) 41~106Pは, 第8部 家禽:
グアテマラの養禽, 農業資産, 牝鶏・雄鶏・牝ひな・雄ひな数, chompipの数, その他の家禽, 家禽合計, 輸入, 輸出, 輸出入対比。
 - 3) 107~118Pは, 第9部 蜂
 - 4) 119~244Pは, 第10部 畜産
牛乳, クリーム, バター, 生チーズ, 乾チーズ, 羊毛, 卵の生産, 蜜及び蜜ロウ, 要約, 貿易
 - 5) 245~290Pは, 第11部 農機具及び車輛
農業機械の使用, 農機具及び車輛
 - 6) 291~332Pは 第12部 肥料及び灌漑
 1. 肥料: 施肥農場数, 化学肥料使用, 肥料の輸入
 2. 灌漑: グアテマラの灌漑
 - 7) 333~338Pは, 第13部 農業労働力
 - 8) 339~352Pは, 第14部 小作人
 - 9) 353~424Pは, 数表
 - 10) 425~428Pは, 調査票のモデル
という内容。
3. Tomo 2, 3は, 図書資料室に登録されていない。

Estadísticas agropecuarias continuas 1975(継続農牧業統計1975年)(51.11_經濟省統計總務局_611_81.1_G_D11995, 67P)

1. スペイン語。農牧業の1975年の統計表。
2. 第1部は生産統計で、さとうきび、砂糖、糖蜜、綿、綿花、コーヒー、米、小麦、バナナ、油料の面積、生産量等。
3. 第2部は、月別の作況を、栽培、収穫見込を、不良、並、良、極めて良の4段階に区分し、各地域からの、区分ごとの該当報告数を掲げている。
4. 第3部は、畜産統計で、牛の生産関係が半ばを占め、豚、羊、山羊、牛乳等の統計が少し掲げてある。
5. 第4部は、農業者の受取り価格の統計である。

Estadísticas agrícolas continuas 1976(継続農牧業統計1976年)(53.5_経済省統計
務務局_611_81.1_G_D11996, 71P)

1. スペイン語。1976年の農牧業統計。
2. 1975年の統計とは、各部の名称を変えている。
3. 第1部は、植物起源の生産物：
さとうきび、砂糖、糖蜜、米、小麦、バナナ、油料、綿、の統計がある。
4. 第2部は、栽培及び収穫見込み。5月～1月をとっており、見込みの報告数が、75年
統計よりはるかに多くなっている。
5. 第3部は、動物起源の生産物：
前年と異り、牛、豚、羊、山羊を、節別けしているが、内容は前年と同様である。
6. 第4部は、農業者の受取り価格である。

Encuestas agrícolas de granos básicos (基本的穀物の農業アンケート調査)(53.12
__経済省統計総務局__611__81.1__G__D11980, 79P)

1. スペイン語
2. 調査方法の凡例的な解説が少々あり、大部分は数表になっている。巻末に調査票が付けてある。
3. 各作物につき、面積、収量、単収の表、生産物の仕向けの表を、77～78年、77年の3～10月、に期間を分けて掲げてある。

Estadísticas agrícolas continuas 1978(継続農業 統計1978年)(55.3__経済省統計総務局__611__81.1__G__D11997, 94P)

1. スペイン語。1978年の農業統計。76年までは農牧業統計であった。
2. 1976年と編集を変え、第1部、植物起源生産物、第2部、動物起源生産物、第3部、栽培及び収穫状況、第4部、濃厚家畜飼料、第5部、農業者受取価格としている。家畜の濃厚飼料が新たに加えられている。
3. 第1部、第2部、第3部の集計項目は、1976年と変わらない。
4. 第4部はとうもろこし、maicillo、燕麦、が取り上げられている。

Estadísticas agrícolas continuas 1979(継続農業統計1979年)(55.10_経済省統計総務局_611_81.1_G_D11998, 100P)

1. スペイン語。1976年までは「農牧業統計」であったが、1978年分から、「農業統計」と改題された。
2. 集計項目は、1978年と同じで、畜産、飼料も含まれている。
3. 第1部 植物起源生産物。
さとうきび、砂糖、糖蜜、米、小麦、バナナ、コーヒー、油料、綿、綿実の生産統計。
4. 第2部 動物起源生産物
牛、豚、羊、山羊、牛乳の5節に分けた統計。
5. 第3部 栽培及び収穫状況
とうもろこし、フリホル豆、米、小麦、綿につき、日本でいう作況（不良、並、良、極めて良の4段階）に分け、各階層に該当する報告数を掲げている。
6. 第4部 濃厚飼料
7. 第5部 農業者受取価格

Estadísticas agrícolas continuas 1980(継続農業統計1980年)(57.3_経済省統計総務局_611_81.1_G_D11999, 96P)

1. スペイン語。前頁掲載の統計と同一の集計項目1980年分。

Estadísticas agrícolas continuas 1981(継続農業統計1981年)(57.12__経済省統計総務局__611__81.1__G__D12000, 95P)

1. スペイン語。1981年分

さとうきび88,880マンサナ(面積), 5,390,212キンタル(砂糖), 米387,321キンタル, 小麦412,937キンタルという数字がある。

Boletin de pesca No.14,1981(漁業報告第14号,1981年)(57__農牧食糧省__611__89__
G__D12029, 62P)

1. スペイン語。1981年の漁業統計。

2. 図。表49により。

漁業活動, 漁獲, 漁船数, 漁獲金額, えびの体長区分, えび開発研究, 燃料消費, えびの分布の変化, えび輸出, 国内消費, 等を示している。

3. 大西洋, 太平洋の別, 月別に示してある場合が多い。

III Censo nacional agropecuario 1979__ Volumen, III (第三次農業全国センサス、
1979年)(58.2__経済省統計総務局__611__81.1__G__D11987, 330P)

1. スペイン語。1979年4～5月に行った調査結果の集計。

2. 報告書は、3編あり、

第1編 農場の数及び面積、及び主たる性格

第2編 農林業の栽培・生産

第3編 家畜の状況及び農畜産加工製品

となっている。

本報告書は、第3編の第1部と註記がある。

3. 目次に、総括の章とあり、それが、7章に区分されている。

第1章 飼育牛 (第1章の1, 2才未満, その2, 2才以上)

第2章 飼育豚

第3章 飼育羊

第4章 飼育山羊

第5章 家禽

第6章 魚及び飼兎

第7章 蜜蜂

4. 市町村別、農場数、性別、畜令別等、非常に詳細である。

開発計画(1)

番号	文 献 名	刊 行		整理番号	
		部 課	日付	資料室	農計部
1	Plan de desarrollo 1975-79:plan de desarrollo agricola	CNPE	75. 11	611 81 G D16266	-
2	同 上 :Tomo I	"	"	611 81 G D15313	-
3	同 上 :Tomo II	"	"	611 81 G D15314	-
4	同 上 :Tomo III	"	"	611 81 G D16265	-
5	同 上 :Tomo IV	"	"	611 81 G D15315	-
6	同 上 :Tomo V	"	"	611 81 G D15316	-
7	同 上 :Tomo VI	"	"	611 81 G D15317	-
8	同 上 :Tomo VII	"	"	611 81 G D15318	-
9	同 上 :Tomo VIII	"	"	611 81 G D15319	-
10	同 上 :Tomo X	"	"	611 81 G D15320	-
11	同 上 :Tomo XI	"	"	611 81 G D15321	-

開
発
計
画

開発計画(2)

番号	文 献 名	刊 行		整理番号	
		部 課	日付	資料室	農計部
12	Plan de desarrollo 1975~79:Tomo X II	ONPE	75.11	611 81 G D15322	-
13	同 上 :Tomo X III	"	"	611 81 G D15323	-
14	同 上 :Tomo X IV	"	"	611 81 G D15324	-
15	Plan Nacional de Desarrollo 1979~1982:sector agricola	"	78-	611 81 G D15923	-
16	Estudio de factibilidad riego Cuyuta-Resumen del proyecto	農牧食 糧 省	82-	611 83.3 G D12013	-

Plan de desarrollo 1975~79 : Plan de desarrollo agricola__La estrategia del desarrollo en Guatemala(1975~79年開発計画：農業開発計画__グアテマラにおける開発戦略)(50.11__経済企画国家審議会__611__81__G__D126266, 97P)

1. スペイン語。本報告書は、14冊から成る1975年~79年の農業開発計画の、総括部分で、これには、巻数番号がない。

これに続きTomo I (第1巻)からTomoXIV (第14巻)まで、次のような構成になっている。

- 第1巻 経 緯
- 第2巻 第1章 序 言
- 第2巻 第2章 農業開発の目標
- 第2巻 第3章 特殊目標
- 第2巻 第4章 戦 略
- 第3巻 第5章 生産計画
- 第4巻 第6章 技術開発計画
- 第5巻 第7章 農地再編計画
- 第6巻 第8章 流通プログラム
- 第7巻 第9章 インフラストラクチャ計画
- 第8巻 第10章 信 用
- 第9巻 第11章
- 第10巻 第12章 人的資源開発計画
- 第11巻 第13章 機構改正計画
- 第12巻 第14章 天然資源計画
- 第13巻 第15章 計画に必要な資源
- 第14巻 付属資料

2. 本巻の要点：

I) 目 次

- I. 序 言：計画の考え方と範囲
- II. 計画実行のための、短期経済期限とその実施
- III. グアテマラの社会の見込像についての配慮
- IV. グアテマラの開発ポテンシャル
 - 1. 天然資源：土壌、水、森林、魚類資源、地下資源（鉱物、採石）
 - 2. 人的資源

3. 物理的施設

4. 中米の総合化

5. 結 論

V. 1975～79年開発計画の戦略と手段の目標の設定

1. 経済拡大

2. Ingresoの構造改善

3. グアテマラ経済の外部の脆弱性の削減

4. 国の人的資源開発

5. 生産的職業の機会の創設

6. 天然資源の保全と開発及び環境保全

7. 公共部門の強化及び開発推進能力の改善

8. 中米域内の経済と伴ったグアテマラ経済のConvergencia。

VI. 計画の基礎となる戦略

1. 農業開発

2. 工業開発

3. 鉱業開発

4. 観光開発

5. その他サービス

6. 建 設

7. 人材開発

8. 戦略における公共部門の活動

9. 開発の財政措置

10. 支払均衡の防衛

11. 中米総合を配慮したグアテマラ政府の政策

12. 結 論

2) 以上の項目について、後続の巻に掲げられる計画の概念、要点を若干の数表を交えて記述しており、農業開発の項には、

- (1) 農業は依然国の経済の基幹であると云い、
- (2) 食糧自給、突発事態用備蓄の造成及び輸出への貢献を目標と述べ、
- (3) 国内を区分した地域ごとに、重点事項を略記してある。

Plan de desarrollo 1975~79: Plan de desarrollo agrícola__Tomo 1 Contenido:
Antecedentes(1975~79年開発計画:農業開発計画,第1巻 経緯)(50.11__経済企画国家
審議会__611__81__G__D15313, 33P)

1. スペイン語。一連の報告書の序章として、経緯を述べている。
2. 内 容 :
 - 1) 農業部門の傾向
 - (1) 総 括
 - (2) 部門の動力(ダイナミック性)不足
 - (3) 農業開発に影響する諸問題
 - イ. 生産への資源の可処分性及び利用
 - ロ. 需要側による農業開発の障害
 - ハ. その他の問題, 開発のためのサービス
 - 2) 将来の見通し
 - 3) 計画作成と農業開発。

Plan de desarrollo 1975~79: Plan de desarrollo agricola__Tomo II Contenido:

Capitulo 1 Introduccion

Capitulo 2 Los objetivos del desarrollo agricola

Capitulo 3 objetivos especificos.

Capitulo 4 La estrategia

(1975~79年開発計画：農業開発計画__第2巻)

第1章 序 言

第2章 農業開発の目標

第3章 特殊目標

第4章 戦 略

(50.11__経済企画国家審議会__611__81__G__D15314, 46P)

1. スペイン語

2. 内 容:

第1章 序 言

第2章 農業開発の目標

第3章 1975/79年農業開発計画の特殊目標

第4章 農業開発のための戦略

1. 全体計画

2. 空間における計画の位置

1) 総 括

2) 農業の地方のシステム：地方戦略の物理的基礎

3) 地域集中及び農業開発戦略

Plan de desarrollo 1975-79: Plan de desarrollo agricola Tomo III Contenido:
Capitulo 5 Programa de produccion (1975~79開発計画: 農業開発計画 第3巻,
第5章 生産計画)(50.11_経済企画国家審議会_611_81_G_D16265, 43P)

1. スペイン語

2. 内 容:

第5章 生産計画 (Programa)

1. 序 言

2. 1975/79年農業生産計画の内容

- 1) 国内消費用食糧生産サブプログラム
- 2) 国内消費用一次原料生産サブプログラム
- 3) 輸出用食糧生産サブプログラム
- 4) 輸出用第一次原料生産サブプログラム

3. 生産計画の特殊基準 (Criterios) の作成

- 1) 国内消費用食糧
- 2) 国内消費用第一次原料
- 3) 輸出用食糧
- 4) 輸出用第一次原料

4. 生産計画及び地域の目標

(註 第1次原料: 綿, ケナフ, タバコ, 油, 飼料, 皮革, を指している。)

Plan de desarrollo 1975~79: Plan de desarrollo agrícola TomoIV_ Contenido:
Capitulo6: Programa de desarrollo tecnologico(1975~79年開発計画: 農業開発計画
第4卷 第6章 技術開発計画)(50.11_ 経済企画国家審議会_611_81_G_D15315, 53P)

1. スペイン語

2. 内 容:

第6章 技術開発計画

1) 序 言

2) 調査研究サブプログラム

(1) 総 括

(2) 優先性

(3) 農業調査研究サブプログラム

3) 技術援助サブプログラム

(1) 目 的

(2) 技術援助サブプログラムの特殊機能

(3) サブプログラムの事業のフェイズ

(4) サブプログラムの実施村落

4) 資金供給サブプログラム

(1) 序 言

(2) サブプログラムの実施

3. 第6章は、研究、普及、金融の計画である。

Plan de desarrollo 1975~79: Plan de desarrollo agrícola, Tomo V contenido:
Capítulo 7: Programa de reestructuración agraria: (1975~79年農發計画: 農業開
發計画_第5卷 第7章 農業再編計画)(50.11__經濟企画国家審議会_611__81__G__D__
15316, 70P)

1. スペイン語

2. 内 容:

第7章 農地再編計画

1. 序 言

2. 開発の目標及び農地再編

3. 計画のための土地資産

1) 公権保有資産

2) 私権保有資産

4. プログラム

1) Norte Bajo及びPeténの土地の編入

2) 農地分割の再編

3) 農協農場

4) 灌漑及び排水区

5) 小農の再集合

6) プログラムの地方化

5. 再編の施設の基礎

1) 受益者の選択

2) 組織化の形態

3) 受益者の組織

4) 資格付与業務に関する基準

6. 制度的調整

1) 土地に関する法規の修正

2) SPA内の土地事務所の設置

Plan de desarrollo, 1975~79: Plan de desarrollo agricola, Tomo VI contenido:
Capitulo 8 : Programa de comercializacion (1975~79年開発計画: 農業開発計画
第6巻 第8章 流通プログラム)(50.11_経済企画国家審議会_611_81_G_D15317,
52P)

1. スペイン語

2. 内 容:

第8章 流通(商品化)プログラム

1. 全体計画

2. 価格規制

1) サブプログラムの範囲

2) 基本的穀物

3. 貯蔵の規制

1) サブプログラムの範囲

2) 備蓄の設定

3) インフラストラクチャ

4. 改善資本の管理

5. 農産物輸出の促進

1) 全体計画

2) 他州向け輸出

3) 中米市場向け輸出

6. 消費者保護

Plan de desarrollo 1975~79: Plan de desarrollo agrícola Tomo VII contenido:
Capítulo 9: Programa de infraestructura(1975~79年開発計画, 農業開発計画第
7卷第9章インフラストラクチャ計画)(50.11 経済企画国家審議会 611 81 G D
15318, 63P)

1. スペイン語

2. 内 容:

第9章 インフラストラクチャ計画

1. 序 言

2. 近郊道路サブプログラム

1) 序 言

2) サブプログラム概要

3. 農村道路サブプログラム

4. 灌漑サブプログラム

1) 序 言

2) 1975/79年計画の一部としての灌漑

3) 灌漑計画の範囲

4) 低地灌漑

5) 工事の調査, 建設及び監督

6) 小灌漑

7) 技術・経済的検討

5. 排水サブプログラム

1) 序 言

2) 1975/79年計画の一部としての排水

3) 排水サブプロジェクトの範囲

6. 農産物流通のためのインフラストラクチャ・サブプログラム

1) 序 言

2) 1975/79年計画の一部としての農産物流通のためのインフラストラクチャ

3) サブプログラムの目標とプロジェクト

7. 畜産開発のためのインフラストラクチャ

8. 小漁民漁業

9. ばれいしょの貯蔵

10. 農産加工

11. 農業サービスセンター

Plan de desarrollo 1975~79: Plan de desarrollo agricola__Tomo VII contenido:
Capitulo 10 Programa de credito(1975~79年開発計画,農業開発計画 第8巻__第10章
信用計画)(50.11__経済企画国家審議会__611__81__G__D15319, 69P)

1. スペイン語

2. 内 容:

第10章 信 用

1. 序 言

2. 信用計画の目標

3. 計画のオリエンテーション

1) 信用の選択政策

2) 地域間政策

4. 計画の次元

1) 全国マクロ

2) 地域別・作目別マクロ

5. 計画のファンドの源泉と利用

1) 源 泉

2) 利 用

Plan de desarrollo 1975~79: Plan de desarrollo agricola TomoX__contenido:
Capitulo 12 Programa de desarrollo de los recursos humanos (1975~79年開発
計画, 農業開発計画 第10巻 第12章 人的資源開発計画)(50.5__経済企画国家審議会__611
__81__G__D15320, 65P)

1. スペイン語

2. 内 容

第12章 人的資源開発計画

1. 序 言

2. 目 標

3. 農村レベルの人的資源形成サブプログラム

1) 農村レベルの農業教育

2) 農村の組織

4. 部門の人的資源形成の分野のサブプログラム

1) 中位レベル

2) 上位レベル

Plan de desarrollo 1975~79: Plan de desarrollo agrícola Tomo XI contenido :
Capitulo 13 programa de ajustes institucionales(1975~79年開発計画・農業開
発計画__第11巻 機構改正計画)(50.11__経済企画国家審議会__611__81__G__D
15321, 32P)

1. スペイン語

2. 内 容:

第13章 機構改正計画

1. 全体企画

2. 機構改正計画の特殊目標

3. 計画の範囲

1) 機構の改正及び(又は)現在のメカニズム

a. 決定の段階

I. 理事会の総合化

II. 地方組織

III. 省間委員会

IV. 企画部門のシステム

b. 調整の段階

I. 部門間の調整

1 企画部門のシステム

2 農業調整上級委員会

3 地方の委員会

4 地方の監督者

5 計画の監督者

Plan de desarrollo 1975~79: Plan de desarrollo agrícola Tomo X II contenido:
Capítulo 14 Programa de recursos naturales (1975~79年開発計画: 農業開発計画
第12卷 第14章 天然資源計画) (50.11__経済企画国家審議会__611__81__G__D15322,
34P)

1. スペイン語

2. 内 容:

第14章 再生可能天然資源計画

1. 序 言

2. 目 標

3. 資源水準に対するサブプログラム

1) 土壤資源

2) 水資源

3) 森林資源

4) ファウナ資源計画

5) 国立公園

Plan de desarrollo 1975~79: Plan de desarrollo agrícola Tomo X III. Contenido:
Capítulo 15 Recursos necesarios para el plan (1975~79年開発計画 農業開発
計画第13巻 第15章 計画に必要な資源)(50.11 経済企画国家審議会 611_81_G_D
15323, 4P)

1. スペイン語

2. 内 容:

第15章 計画のための資金源 (註 表紙と異っている。)

表15.1 1975/79年開発計画: 実施総計費見積。

1. 資金支出額	} 各年及び合計 (千ケツアル)
2. 実技資額	
3. 財政投資額	

表15.2 農業開発計画: 財政支出の可能な給源, 事前予測。
の2表と, 若干の解説がある。

Plan de desarrollo 1975~79: Plan de desarrollo agrícola Tomo XIV Contenido:
 Apendices (1975~79年開発計画: 農業開発計画 第14巻 付属資料) (50.11__経済企画国
 家審議会_611_81_G_D15324, 44P)

1. スペイン語

2. 内 容:

1) 栽培関係要約と、畜産関係要約との2部に分れる。

2) 栽培関係の内容:

(1) 序 言	1975年 ha	1979年 ha
(2) とうもろこし	133,286	192,210
(3) フリホル豆	20,760	35,551
(4) 小 麦	19,332	31,254
(5) 米	7,567	12,577
(6) ソルガム	7,931	25,504
(7) バ ナ ナ	1,500	3,100
(8) ばれいしょ	600	1,000
(9) ごま (Ajonjoli)	1,000	15,000
(10) 園芸作物		
きゅうり (Pepino)	250	200
メロン	130	165
トマト	200	1,000
玉ねぎ	50	300
にんにく	56	100
その他	100	400
(11) 果 樹		
Frutales deciduos	150	1,000
(何がこれに当るか説明 なし)		
その他	600	1,800
合 計	203,412	323,858

上表の通り、大中増反の計画である。

3) 畜産関係の内容:

- (1) 序 言
- (2) 牛プロジェクト
 - a. 目 標 : 1974年 2,326千頭を1979年3,395千頭とする。
 - b. 地域配分及びプロジェクトの方向
 - c. 必要資金
- (3) 豚プロジェクト
 - a. 序 言
 - b. 経緯と診断
 - c. プロジェクト
- (4) 羊プロジェクト
 - a. 経 緯
 - b. プロジェクト
 - c. 目 標
 - d. 方 法
 - e. プロジェクト経費と財政支出

4) 養蜂開発

となっている。畜産では牛関係のみが詳しいのは、ウエイトが大きいことによると思われる。

3. 具体的事項は、ぼう大な報告書より、この付属資料にある要約で見た方が分り易い。

Plan nacional de desarrollo 1979~1982 Sector agricola(Resumen)(1979~1982
年間開発計画,農業部門<要約>)(53.12__経済企画国家審議会__611__81__G__D15903,
22P)

1. スペイン語。平山路子氏の和文要約がある。よくできた要約である。
2. 内 容：
 - I. 農業部門の目標
 - II. 農業部門の戦略
 - III. 1979~82年の間農業部門で用いる政策手段及び活動
 - IV. 農業部門の計画に含まれるプログラムとプロジェクト
 - V. 農業部門：公的投資の要約の5章になっている。
3. 農業部門の目標は、長期、中期に分けて示し、また、79年~82年に行うべきことの目標を示している。

農民所得の向上、生産の増大、資源利用等常識的事項のほか、小農及び家族経営の小企業の減少を図るということをのべている。
4. 1979~82年の計画には、生産政策（需給均衡、農業多様化、天然資源利用、貯水池建設等）、技術開発政策、人的資源開発、流通政策、基礎社会資本造成、農地再編、農業信用政策、再生可能資源利用政策、農産工業開発、協同組合組織育成、機構改革、先行投資等を列記している。
5. プロジェクトには、農牧技術研究、学外教育、技術援助、農機具・肥料の購入・配給、種子生産、等々12項目をあげている。

農地改革については、地域開発を含む。土地配分、地権登記、小農のグループ化、かんがい政策の改正等があげてある。

以下、信用、基礎資本、流通、人的資源開発、組合育成、再生可能天然資源利用、機構改革についてプロジェクトをあげている。
6. 最終章は、経費の推算である。

Estudio de factibilidad riego Cuyuta__Resumen del proyecto(Cuyuta灌漑フ
ィービリティ調査__プロジェクトのまとめ)(57.12__農牧食糧省__611__83.3__G__
12013, 47P)

1. スペイン語。農牧食糧省自身の調査と思われる。
2. 本プロジェクトは,
 - 1) Achiguate川の水を用いて, Cuyuta地区2,800haの灌・排水及び基盤整備を行い, とうもろこし, 豆, ソルガム, ごまの単年作物, さとうきび, バナナ及びオレンジの永年作物の導入, 酪農導入による, 農牧開発を行うというものである。
 - 2) 灌漑は重力灌漑を考えている。
3. 結論としては, 経済的に可能性ありとしている。
資金の源については書いてない。

その他(1)

番号	文 献 名	刊 行		整理番号	
		部 課	日付	資料室	農計部
1	Informe de la investigacion preliminar del efecto del temporal de septiembre de 1969 en la agricultura y otros sectores de la Costa sur Guatemala	国立地理研究所 他	69-	611 82.5 P D13014	-
2	Inter country evaluation of agriculture sector programs Colombia, Costa Rica, Guatemala: Vol.4, Guatemala	USAID	74-	611 81 H D00994	-
3	Four years of history: I CTA	I CTA	75.9	611 80.7 W D165.8	-
4	Training course in agricultural production	I CTA	76.8	611 80.7 G A010115	-
5	Agricultural research in Guatemala	I CTA	77.10	611 81.1 W A01014	-
6	The I CTA farm record project with small farmers	I CTA	79.7	611 80.7 H A07889	-
7	Mapa de capacidad productiva de la tierra	経済企画委員会 国 審議	80-	611 82.5 V D13668	-
8	Marketing fin fish from the Pacific Coast of Guatemala	コロネル大	80-	611 89 L D00977	-
9	Mapa de cobertura y uso actual de la tierra	経済企画委員会 国 審議	81-	611 82.5 V D13544	-
10	Ley forestal	内務省	80-	611 88.7 G D12023	-
11	The social impact of agribusiness: a case study of ALCOSA in Guatemala	USAID	81.7	611 81 K D08344	-
12	Guatemala: development of the institute of agricultural science and technology (ICTA) and its impact on agricultural research and farm productivity	USAID	82-	611 80.7 M D00990	-

Informe de la investigacion preliminar del efecto del temporal de septiembre de 1969 en la agricultura y otros sectores de la costa sur Guatemala (1969年9月の暴風雨の、グアテマラの南部海岸の農業その他の部門への影響の第1次調査の報告)(44.10 国立地理研究所・サンカルロス大_611_82.5_P_D13014, 41P)

1. スペイン語。この報告書には、水害地域の25万分の1、降雨害及び冠水害を受けた地域の5万分の1の、モザイク地形図、及び、アチグアテ及びグアカラテ川の流域の25万分の1地形図が含まれるとあるが、欠落している。

2. 内 容 :

序 言

第I章 方法と機材

第II章 調査結果

1) 特に洪水に影響された地区の25万分の1のモザイク地形図

2) 過剰の降雨及び洪水の冠水に影響された地域の5万分の1の半詳細水準のモザイク地形図

3) 洪水の栽培への影響及び洪水の土壌に残した堆積物の分析、地表及び地下排水の問題

第I表 : 土壌粒子の粒径分析

第II表 : 土壌サンプルの電気伝導度

第III表 : Cylan, San Andrés Csuna Escuintal, Obispo y Antigua E, E
の測候所における降雨記録

4) Achigua及びGuacalate川流域の地形学的分析

5) Achigua及びGuacalate川流域地区の25万分の1地形図

第III章 結論及び勧告

3. 結論及び勧告の章

1) 694km²が冠水した。

2) 綿はクロロシスを起し、大害を受けたが、とうもろこしの被害は小さかった。排水路不足が原因である。

3) 緊急事態宣言を出し、上記両河川及び他の主要河川の保全、排水施設の整備、この重要な地域のしっかりした計画を政府が作成、実施することを勧告している。

4. なお、この年の降雨は、8～9月の30日間に、San Andres Csunaで、1,115mm、Ceylanで1,030mmを記録している。

Inter country evaluation of agricultural sector programs: Colombia, Costa Rica,
Guatemala__Vol.4 Guatemala(49.6__AID__611__81__H__D00994, 88P)

1. 英語。AIDのProgram evaluation studies, の1つとして, コロンビア, コスタリカ, グアテマラの3ヶ国で行った農業プロジェクトの, 各国のとった方法と効果の比較調査の報告書。この第4巻はグアテマラ編である。

立石和枝氏の和文要約がある。

2. 内 容 :

序 言

第1章 評価要約及び勧告。

第2章 援助計画

第3章 基礎穀物及び多様な作物計画の信用及び技術援助要素の全般的分析

第4章 基礎穀物及び多様な作物計画の作物及び生産要素の分析

第5章 他のローン支援プログラム

第6章 国家開発計画 (1971~1975年)

Annex (略)

3. 要 約 :

- 1) ローンによる機構改革は成功した。また, 政府の関係予算増大の刺激になった。
 - 2) 生産・所得の増大は明らかでなかった。
 - 3) 計画より農民の参加は少なかった。融資による増産も計画より低かった。
 - 4) パッケージ技術が必要である。
 - 5) 融資を受けた農家の報酬は計画より低かった。
- 等, 政府の機構・予算増大の効果だけ認められるという報告になっている。

Four years of history(50.9 ICTA_611_80.7_VI_D16528, 53P)

1. 英語。スペイン語版もあると註記してある。

ICTAの4ケ年の経過報告である。

2. 内 容 :

背 景

農業部局及びICTAの形成 (1971年10月～1973年5月10日)

設立後2年のICTAの経験

目的, 政策及び戦略

開発対生産

機構及びプログラム拡張のための政策

訓 練

国際関係

政府農業部門の組織

ICTAの構成

物的施設

資金と予算

生産のための技術班

生産センター

種子計画

Disciplines (特定分野の技術者訓練の必要性をのべている。)

試験技術のためのプロジェクト

What, Where, When&How?

参考文献

Training agricultural production(51.8 ICTA_611_80.7_G_A01015, 51P)

1. 英語。ICTAの農業生産訓練の概要。
3部、及び付属資料から成る。
2. 第1部 序言、第2部 1976年3月1日～8月31日の間の訓練コースの概要、第3部 将来への配慮、付属資料：1976年第2期コースの計画という内容である。
3. 序言の部に、ICTAは一般に研究・開発の成果が農民に伝わらなかったり、受入れられないことを考え、この訓練を行うという趣旨をのべている。
訓練生には、理論、実行で教え、実験室及び圃場の2段階で教える、等がある。
4. 第2部では、Jutiapaという地点を選定して、訓練センターを設けた理由、コースの内容、訓練生の町村への貼付け、時間割などの詳細が述べてある。
5. 第3部は、今後のことにつき、5ヶ年計画、他の地域向けの訓練、各機関間の連絡などに、簡単に言及している。

1. 英語。1977年10月、イタリアのベラビオで開催されたベラビオ会議に提出された資料。ICTA (Instituto de Ciencia y Tecnologia Agrícolas) の作成。序言に、1973年設立のICTAの農業部門の報告とある。

2. 要約:

1) 背景の項に、人口550~600万人、国土面積108,000km²、山が多い。降雨は季節的で、5~10月が雨季、6月、9月の2回のピークがあり、4,000mm~500mmと地域により異なる。

農地は、1農家当り、2ha(87%の農家が18%の農地を持つ)。

人口の半ばに当る40万~50万が農業者である。

主穀生産が多い。

とうもろこしが主食で、豆、ソルガム、小麦、米もあるが、とうもろこしは、第2位の作物の10倍の面積を占める。

その他、重要作物は、コーヒー、砂糖、綿、牛、バナナで、これらは、大農場が生産する。等、要領のよい農業事情の記述がある。

2) 以下、グアテマラの農業部局 (Public Agricultural Sector) の機構、ICTAの位置付け、PASの機能、ICTAの任務・機構、生産推進体制 (情報収集__研究__圃場試験__農家でのテスト__生産促進という流れ)、国際関係等の略述がある。

3) 最後に、要約があり、ICTAは研究のみの機関ではなく、技術開発及びその活用までを行うものであると云っている。

The ICTA farm record project with small farmers__Four years of experience
(54.7 ICTA 611 80.7 A07889, 21P)

1. 英文。ロックフェラー財団の農業経済学者Peter E. Hildebrandの記述による。
2. ICTAの小農に関する農場記録プロジェクトは、1975年に始まった。技術テストチームが配置されている地域における、農業・社会経済情報を得るための補足手段である。
報告の目的は、プロジェクトの発展の詳述、現行方法論の記述、直面した諸問題の記述、及び将来への示唆である。
3. プロジェクトの歴史
1975年には地域数1, 作物・作付体系3, 記録数40, 面積390haであったのが, 1978年には, 地域数11, 作物・作付体系34, 記録数583, 面積1,404haと発展している。
4. 現在の方法
寄与者の選定, データ管理, データ解析, 報告書につき簡単な説明。
5. 問題点
農業技術者は、農家の収量報告は低すぎ、意識的なものもあるとしているが、社会経済学者は、作為はないとしている。
ガソリン代が問題。意外にも文盲は問題にならない。圃場試験と記録の組み合わせは有益だが、とりまとめの時間がないという問題を生じている。
6. 将来への示唆 (略)
7. 要約として、記録は有用だとしている。

Mapa de capacidad productiva de la tierra(土地生産力地図)(55.12 経済企画国家審議会_611_82.5_V_D13668, 18P)

1. スペイン語。上記審議会、林業研究所及び国立地理研究所の協力で作成した、上記名称の地図の説明書。地図は別途保管されていると思われる。

地図の縮尺は50万分の1、国連の援助によるとある。

2. 内 容:

1. 序 言

2. 気 象

3. 国内の土壤の適性と分布

1) 全国標高分布

2) Departamentoによる分布 (Departamentoは大地域区分らしい)

3) 地域による分布

4. 結 論

1) 全般的結論

2) 特殊な結論

3. 結論の章の1)の方は、土壤調査の必要性の強調。2)の方は、Departamento別に、農業適地、牧畜適地、林地適地等が、多いとか少ないかを述べている。

土地等級をI～Ⅷに分け、

I～IIは制約なしの農業適地、III～IVは制約ありの農業適地、Vは牧畜又は森林適地(排水が必要)、VIは原則的には牧畜、永年作物又は森林、VIIは林業、Ⅷは国立公園、等向きと区分しており、米国式。

I～IVの合計が、2,875.8千ha (26.4%) となっている。

Marketing fin fish from the Pacific coast of Guatemala(55.1__コロネル大学その他_691_89_L_D00997, 32P)

1. 英文。コロネル大学の農業経済学教授, William Lesser, 及びロードアイランド大学資源経済学教授, Thomas Weaverの共著。

2. 内 容 :

抜 粋

序 言

海域概要

企業の漁業

生産と流通

競 争

漁民漁業

生産と流通

海洋漁業 : San Jose

汽水水域漁業 : Iztapa

他のコミュニティー

グアテマラ市における第2次卸売流通

小売流通

卸売業者の競争

小売段階の競争

要約と結論

文 献

3. 要約と結論の項では, グアテマラの漁業は, 効率のよい企業漁業(スーパーマーケットと直結)と, 小漁民漁業から成ると説明し,

小型トロール漁業支援, 小型底魚の加工, 未利用魚の利用, 内水面漁業振興, 信用供与, 市場不足, 漁具の高価格, 小売業者数の削減等の問題を提起している。

4. なお, fin fishは魚のこと。

Mapa de cobertura y uso actual de la tierra(土地の地表状態及び実利用状況地図)
(56.2__経済企画国家審議会__611__82.5__V__D13544, 24P)

1. スペイン語。上記審議会、林業研究所及び国立地理研究所の協力作成。国連の援助によったとある。

50万分の1の地図の説明書。地図は別途保管されていると思われる。

2. 内 容:

1) 序 言

2) 気 象

3) 土地(国土)の地表状態と実利用状況の分析

(1) 総括意見及び定義

(2) 国土の標高分布

(3) Departamentos別分布 (Departamentoは地域区分の一種)

(4) 地域別標高分布

4) 結 論

3. 結論の章に、ランドサットの映像によって解析したことが述べてある。

Departamento (22地区ある) 別に、45の単一あるいは複合の植物の別に面積と%を掲げている。

森林が最も多く、37.8%、次いで林地を開いた作付が5.4%、等があり、作物ではとうもろこし及び豆等との組合せが数%でもっとも多い。

Ley forestal(林業法)(55_内務省_611_88_G_D12023, 46P)

1. スペイン語。小パンフレット。グアテマラの森林法。法令番号58_74。
2. 内 容：
 - 第1章 総 括：第1～11条
 - 第2章 森林の類別：第12～19条
 - 第3章 保護林：第20～22条
 - 第4章 統計及び売買：第23～26条
 - 第5章 林業権：第27～35条
 - 第6章 木材の運搬：第36～37条
 - 第7章 再植林：第38～40条
 - 第8章 林業インセンティブ：第41～47条
 - 第9章 税制：第48～56条
 - 第10章 違反及び処罰：第57～63条
 - 第11章 資格付与：第64～65条
 - 第12章 林業用語：第66条
 - 第13章 経過規程：第67～73条
3. 第2章の森林の類別には、a) 保護林、b) 国立公園、c) 保全林の3つを規定している。

The social impact of agribusiness: A case study of ALCOSA in Guatemala
(56.7_USAID_611_81_K_D08344, 93P)

1. 英文。AIDの委託で、Kenneth C. Kustner他が行った評価調査の報告書。
2. 内 容：
 - 第1章 序 章
 - 第2章 要 約
 - 第3章 背景説明：LAAD, 及びALCOSA
 - 第4章 Chimachoy
 - 第5章 Patzicia
 - 第6章 Santiago Sacatapequez
 - 第7章 San José Pinula附属資料：A. 農業婦人への質問, B. 農民への質問, C. プラントの雇用者への質問。
3. 要 約
 - 1) 農業企業（アグリビジネス）の発展が及ぼす「社会的インパクト」を、グアテマラのアメリカ企業ALCOSA（Alimentos Congelados Monte Bello, S. A）を例として、行ったケース・スタディー。
 - 2) 農業への影響では、多様であった農作物がカリフラワー1つになってしまった。投入労力、資金に増大し、またノウハウもふえた。
カリフラワーは国内需要を超えてしまった。価格も下った。
 - 3) 農家収入は増えた。ALCOSAの支払いは、他のどこよりもよかった。
 - 4) 農家に階層ができてきた。また協同組合ができALCOSAはこれから買入れた。
 - 5) 家計はよくなり、最貧農家も基本的ニーズを充し、子供を学校に出せるようになった。等を記してある。

Guatemala: Development of the Institute of Agricultural Science and Technology (ICTA) and its impact on agricultural research and farm Productivity (57.2__USAID__611__80.7__M__D00990, 32P)

1. 英文。1979年から、AIDは援助プロジェクトの事後評価をするようになった。これは、その1つである。
2. 要約によれば、
 - 1) 1960年代には食料供給が人口増に追付かなくなり、政府は機構改革を1970年に行い、対応につとめた。

このときICTAが設立された。AIDは173万ドルの援助を行った。
 - 2) ICTAは、とうもろこし、豆、及びソルガムに的をしぼって増産をはかった。国際機関の専門家と協力して、新品種の開発、農家圃場でのテスト等を行った。また米州開銀の援助を得て、種子対策を行った。

とうもろこし、豆の新品種は導入され、増収を記録した。
ソルガムの新品種はまだ出ていない。
 - 3) ICTAは種子改良のほか、各種増収技術を開発・奨励した。
 - 4) AIDプロジェクトはICTAの強化の促進に役立った。
 - 5) 問題は、給与の関係で、レベルの高くなった者から出ていってしまうことで、この点、ICTAは対応できていない。

等がのべてある。

ハイ
テイ
イ

ハイティ

番号	文 献 名	刊 行		整理番号	
		部 課	日付	資料室	農計部
1	経済協力国別資料 ハイティ, ドミニカ	外務省	80-	R612 36 G A02063	-

1. 外務省が昭和49年以降継続して作成している経済協力国別資料の1つ。ハイティ・ドミニカ編
2. 1～36Pはハイティ編, 37P以降はドミニカ編
3. ハイティ編の内容:
 - 第I章 経済社会の現状と特色
 - 第II章 経済開発計画の方向(1976～1981年計画)
 - 第III章 主要援助国及び国際機関の援助動向
 - 第IV章 わが国との関係という構成。
4. 第I章・第2節・3に, 天然資源の状況の項があり, 鉱物資源も, 植物資源も乏しいとある。

総面積277万ha, 耕地面積117万ha, 過半はとうもろこし, ソルガムが占め, 砂糖キビ, コーヒーのウエイトも高い。
5. 第I章・第4節・2の産業別動向の1)に農業の動向がある。
 - 1) 70～77年の間, 年率2.5%伸びた。
 - 2) 72～73年の作付面積: とうもろこし23.9万ha, ソルガム21.9万ha, コーヒー13.3万ha, さとうきび12.7万ha。

食糧作物合計66.6万ha, 換金作物30.7万ha, その他を加え117万haとなる。
 - 3) 単収はきわめて低い。とうもろこし1t強, 米(粳)2.5t(何れもha当り)で, ドミニカより低い。
6. 開発計画では, 農産物は年11.5%という伸びを目標としている。
7. わが国との関係では, 経済協力は, 資金協力ゼロ, 技術協力は研修員を6人受入れただけ。3人は農業水産である。
8. ドミニカ編は, ドミニカの文献抄録に入れた。

JICA

0
LIT